

# 山形県内 各水系流域治水協議会及び 各河川大規模氾濫時の減災対策協議会 合同協議会開催状況

令和6年11月29日  
山形河川国道事務所  
新庄河川事務所  
酒田河川国道事務所  
山形県

## 1. 概要

令和6年7月25日からの大雨により最上川水系他で、堤防の決壊や越水等による氾濫被害が発生したことを踏まえ、今後、『流域治水対策』を集中的に推進するため山形県内各水系の流域治水協議会等開催。関係機関が協働して集中的に治水対策を行う「緊急治水対策プロジェクト(案)」等について意見交換を行った。

## 2. 開催日／実施状況

- 日時：令和6年11月29日(金)10:00～11:00
- 場所・会議形式：新庄市民プラザ3階第5・6研修室  
(対面・WEB併用会議)

## 3. 協議会内容

- 議事内容  
(1) 最上川下流・中流緊急治水対策プロジェクト(案)について  
(2) 日向川水系・月光川水系緊急治水対策プロジェクト(案)について



新庄市民プラザ会場



新庄市 山科市長



金山町 佐藤町長



最上町 高橋町長



大石田町 庄司町長  
(WEB参加)



東北地方整備局 林河川部長  
(WEB参加)



山形地方気象台 有賀台長



真室川町 新田町長



大蔵村 加藤村長



戸沢村 加藤村長



庄内町 富樫町長



新庄河川事務所 今森事務所長



山形県 佐藤河川課長

# 山形県内 各水系流域治水協議会及び 各河川大規模氾濫時の減災対策協議会 合同協議会開催状況

## 首長からの意見

- **酒田市(危機管理課長)**: 現在、地域ミーティングで被災者の方々の声を聞きながら、復旧・復興方針の策定を進めている。いつまた同じような規模の災害が起こってもおかしくないため、国・県との協力体制のもと、引き続き適切な河川管理の推進に取り組んでいきたい。
- **新庄市(市長)**: 最上川の越水により、多くの家屋、道路、農地の浸水被害に見舞われたことから、これまで以上の流域治水対策等の取組が切実に必要と感じている。新庄市としても、本合海地区の内水氾濫防止のため、排水ポンプの設置などの取組強化に臨む所存。
- **大石田町(町長)**: 現在、最上川の引堤工事を進めていただいております。その堤防整備に合わせて住宅の移転を進める予定。また令和8年度に防災マップの更新を行う。さらに、内水対策に関する住民を含めた意見交換会の実施や、退職自衛官を地域防災専門員として配置するといった取組を行っている。
- **金山町(町長)**: 金山町はこれまで災害が少なかったが、7月豪雨でこれまでにない被害を受け、高齢者等避難及び避難指示の発令や避難所の開設を初めて実施し、さらなる今後の災害に備える経験となった。県には、県管理河川の支障木の伐採や河道掘削等の対応についても引き続きお願いしたい。
- **最上町(町長)**: 最上町は小国川があり、下流のスキー場として利用されていた土地が崩落した際、激甚災害の指定を受けさせていただいた。災害は必ず起こり得るので、治山・治水・砂防を一体的に環境整備することが極めて大事である。
- **真室川町(町長)**: 地区の防災組織も利用し、防災ラジオを去年全戸配布したこともあり、住民に対してスムーズに情報伝達ができた。高坂ダムの放流による河川水位の予測について、事前に町に共有いただければ、避難やその後の内水氾濫の対策も円滑にできると思うので、検討してほしい。

- **大蔵村(村長)**: 令和3年度から事業化された「最上川中流緊急治水対策プロジェクト」の効果が絶大であり、令和2年7月豪雨時と比較して、村内の最上川本流に関する被害は激減した。最上川と銅山川の合流点の越流で被害を生じるので、早急な浚渫工事を実施していただきたい。
- **戸沢村(村長)**: 地域の方々の要望である蔵岡の集団移転が、「最上川中流緊急治水対策プロジェクト」の計画に採用されて大変うれしく思っている。集団移転を含めた防災対策をしっかりと進めていく。
- **庄内町(町長)**: 京田川の氾濫により、雨の降り方も含めて、計測される河川水位と避難の相関関係が適正かどうか再度検証してほしい。一日も早く宇津野沢川についても河川改修ができるような体制づくりを進めていきたい。
- **遊佐町(危機管理係長)**: この度、日向川・月光川の緊急治水対策プロジェクトが策定され、内容も非常に具体的な事業計画になっていることに対し、感謝申し上げたい。町でも、雨水排水施設の改良工事等を予定している。